【別紙】

# 避難指示区域内における工事（業務委託）に従事する労働者の放射線障害防止措置にかかる特記仕様書

受託者は、避難指示区域内における工事に従事する労働者の放射線障害防止措置を下記のとおり行うこと。

（目的）

1　本仕様書は避難指示区域内で行われる工事（業務委託）について、放射線障害防止の観点から受注者の作業安全基準及び適正な被ばく線量管理について定めるものである。

（作業の履行）

2　本業務の履行にあたっては、特記仕様書及び共通仕様書のほか、「除染等業務に従事する労働者の放射線障害防止のためのガイドライン等の改正等について（通知）（平成 26 年 1 月 20 日付け 25 農第 2482 号 25 企技第 1342 号)」（以下、「第 1342 号通知文」と言う。）を遵守し、作業にあたること。なお、第 1342 号通知文は福島県土木部技術管理課ホームページ（https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025b/housyasensyougai-bousi.html）に掲載しているので参考とすること。

（被ばく線量管理）

3　作業時間内の労働者の被ばく線量については以下により行うものとする。

（１）被ばく線量の上限

①　1 日の業務における被ばく線量の上限については、原則として 1mSvとすること。

②　累積被ばく線量の上限については、原則として年間 20mSvとする。なお、女性労働者については、3 か月につき 5 mSvを超えないようにしなければならない。

（２）被ばく線量の管理

①　受託者は、被ばく管理について、工事に従事する労働者の被ばく線量について、管理を行なう職員を選任すること。

②　工事に従事した労働者の 1 日ごとの被ばく線量について、「参考様式 1」により記録し、その都度委託者の確認を得た上で管理すること。また、日々の被ばく線量を 1 日ごと、累積被ばく線量を 1 ヶ月ごとに作業員に通知すること。併せて、作業期間中の工事現場等の空間被ばく線量について、作業着手前に測定し「参考様式 2 」により記録し、委託者に提示できるようにすること。

③　被ばく線量の管理については、年度単位（4 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで）で行う。

（作業にあたっての遵守事項）

4　作業に従事する場合は、常に複数人で行動するものとする。また、被ばく線量をできるだけ抑えるため、次の事項を遵守すること。

（１）防護装備の着用

第 1342 号通知文により、該当する汚染状況や作業状況に応じて適切な装備で作業すること。

（２）喫煙、飲食等

粉塵の吸入や経口摂取を防止するため、喫煙、飲食等は屋内等の外気から遮断された場所で行うこと。

（３）避難指示区域等からの退避

次の場合は、業務を中止し速やかに退避すること。

①　1 日の作業における被ばく線量が 3（１）①で規定する被ばく線量の上限に達した場合。

②　東京電力福島第一原子力発電所から半径 20 ㎞県内の区域（帰還困難区域外含む）において、作業に従事している際に、東京電力福島第一原子力発電所の異常等緊急事態が生じた場合。

（4）スクリーニングの実施

① 作業終了後は、所定のスクリーニング実施機関において汚染の有無を確認する。汚染が確認された場合はスクリーニング実施機関等の指示に基づき除染を行なうこと。

② ①のスクリーニングの結果、汚染が確認された防護装備については、ビニール袋を活用して密封するなど、汚染物質の拡散防止措置を講じた後、スクリーニング実施機関等の指示に基づき処理すること。

（5）業務への従事制限

次の労働者は、業務に従事させないものとする。

① 妊娠中または妊娠している可能性のある者及び授乳中の女性職員。

② 3（1）①で規定する被ばく線量の上限に達した職員。

（作業従事のための同意）

5 居住制限区域又は帰還困難区域内で作業を行う場合は、受託者は作業にあたる全ての従業員から作業に従事する前までに当該作業場所での勤務についての同意を「参考様式３」により書面で得る。

※当該工事現場の放射線量環境の事前調査結果について

| 地点 | 計測日 | 工事現場等の放射線量環境について |
|---|---|---|
| 大堀地区（浪江町） | 7月7日 | 計測点数 2点<br>最大値：0.402μSv/h、最小値：0.393μSv/h、平均値：0.398μSv/h |

参考様式１

# 作業員の被ばく線量等管理簿

１従事する作業員

| 氏 名 | | 性別 | 男 ・ 女 | 生年月日 | | 入場時の累積被ばく線量 | μSv |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

２作業内容及び被ばく線量等

| 番号 | 現場責任者氏名 | 作業従事年月日 | 主な作業内容 | 作業従事場所 | | 作業従事時間（昼休み込） | 日当り実効線量 | 累計の実効線量 | 作業終了後の健康状態（自覚症状） | 本人確認サイン | 放射線測定器種類及び形式 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (例) | ○○△△ | H23.9.1 | 人力土工 | [帰]・居・避 | ○○町大字△△地内 | ８時間 | 36.5 μSv | 36.5 μSv | 異常なし | ×× | IPX―× |
| 1 | | | | 帰・居・避 | | | μSv | μSv | | | |
| 2 | | | | 帰・居・避 | | | μSv | μSv | | | |
| 3 | | | | 帰・居・避 | | | μSv | μSv | | | |
| 4 | | | | 帰・居・避 | | | μSv | μSv | | | |
| 5 | | | | 帰・居・避 | | | μSv | μSv | | | |
| 6 | | | | 帰・居・避 | | | μSv | μSv | | | |
| 7 | | | | 帰・居・避 | | | μSv | μSv | | | |
| 8 | | | | 帰・居・避 | | | μSv | μSv | | | |
| 9 | | | | 帰・居・避 | | | μSv | μSv | | | |
| 10 | | | | 帰・居・避 | | | μSv | μSv | | | |
| 11 | | | | 帰・居・避 | | | μSv | μSv | | | |
| 12 | | | | 帰・居・避 | | | μSv | μSv | | | |
| 13 | | | | 帰・居・避 | | | μSv | μSv | | | |
| 14 | | | | 帰・居・避 | | | μSv | μSv | | | |
| 15 | | | | 帰・居・避 | | | μSv | μSv | | | |
| 16 | | | | 帰・居・避 | | | μSv | μSv | | | |

参考様式２

# 現場の空間線量管理簿

１工事現場概要

| 発注機関 | 工事番号 | 工事名 | 工事場所 | 受託者 | 現場責任者 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | |

２作業内容及び被ばく線量等

| 延べ日数 | 年月日 | 作業員数 | 作業時間 | 日当たり空間線量 | 累計の空間線量 | 延べ日数 | 年月日 | 作業員数 | 作業時間 | 日当たり空間線量 | 累計の空間線量 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | | | μSv | μSv | 17 | | | | μSv | μSv |
| 2 | | | | μSv | μSv | 18 | | | | μSv | μSv |
| 3 | | | | μSv | μSv | 19 | | | | μSv | μSv |
| 4 | | | | μSv | μSv | 20 | | | | μSv | μSv |
| 5 | | | | μSv | μSv | 21 | | | | μSv | μSv |
| 6 | | | | μSv | μSv | 22 | | | | μSv | μSv |
| 7 | | | | μSv | μSv | 23 | | | | μSv | μSv |
| 8 | | | | μSv | μSv | 24 | | | | μSv | μSv |
| 9 | | | | μSv | μSv | 25 | | | | μSv | μSv |
| 10 | | | | μSv | μSv | 26 | | | | μSv | μSv |
| 11 | | | | μSv | μSv | 27 | | | | μSv | μSv |
| 12 | | | | μSv | μSv | 28 | | | | μSv | μSv |
| 13 | | | | μSv | μSv | 29 | | | | μSv | μSv |
| 14 | | | | μSv | μSv | 30 | | | | μSv | μSv |
| 15 | | | | μSv | μSv | 31 | | | | μSv | μSv |
| 16 | | | | μSv | μSv | | | | | μSv | μSv |

○1 月当り（30 日毎）の現場での累積空間線量 計＿＿μSv　　○当該工事での現場での累積空間線量 計＿＿μSv

（参考様式 ３）

請負又は受託
契約者名を記載

# 同　意　書

○○○○㈱ ○○○○ 様

私は、居住制限区域・帰還困難区域内での勤務にあたり、下記の事項について確認し同意します。

記

1　居住制限区域・帰還困難区域内が危険であることを十分認識し、自らの責任においてこの区域内で作業を実施します。

2　居住制限区域・帰還困難区域内においては、現場責任者の指示に従います。

3　次の事項が生じたときは、現場責任者の指示に従い速やかに退避します。

１）福島第一原子力発電所の異常緊急事態が生じたとき

２）実効線量が１年間につき５０mSv かつ５年間に１００mSv を超える可能性があるとき

３）女性（妊娠する可能性がないと診断された者を除く）については実効線量が３月間につき５mSv を超える可能性があるとき

４）妊娠中の女性については内部被ばくによる実効線量が１mSv、腹部表面に受ける等価線量が２mSv を超える可能性があるとき

4　高い空間線量率によりリスクが大きい区域には立入りません。

5　放射線に関する知識、作業における放射線の状況、リスク情報等を現場責任者から十分提供を受けました。

記入日：令和　年　月　日

本人署名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿